

障害者地域活動支援センター

「ふえふき通信」

障がいがあっても、

地域の助け合いの一員に



聴覚に障がいを持つた方が

地区の防災訓練に参加しました

9月1日に行われた地区の防災訓練に、聴覚に障害を持つ羽田さん夫婦が参加しました。これまで、一度も地区の防災訓練に参加したことがなかったという羽田さん夫婦。今回の防災訓練には「手話奉仕員」「手話通訳士」の方々にも協力をいただきました。

羽田さんへインタビュー

Q これまで防災訓練に参加しなかったのはなぜですか？

A 自分達の子どもが小さい頃は、地区の活動に参加していましたが、子どもが大きくなってからは自分達の仕事も忙しかったこともあり、参加していませんでした。また、地域の方とコミュニケーションをとることへの不安もありました。

Q 今回初めて防災訓練に参加して、どうでしたか？

A 「良い経験」になりました。一つは、消火訓練や放水訓練の体験をさせてもらい勉強になったこと、もう一つは、区長さんと顔見知りになったことです。普段は仕事をしているので地域の方と会う機会がほとんどないのですが、災害時などに、顔見知り

りの人が地域にすることは、安心できるのではないかと思います。



Q 手話奉仕員、手話通訳について

A 手話がでなくても、筆談やジェスチャーなどでコミュニケーションをとることはできますが、やはり手話のできる人がいると

手話奉仕員養成講座（基礎講座）全17回

聴覚障がいや聴覚障がい者の生活について理解し、手話の基礎知識や日常生活に必要な表現方法を習得することを目的に開催します！

[日時] 平成25年11月13日(水)
～平成26年3月12日(水)
毎週水曜日

[時間] 午後7時30分～9時

[場所] 笛吹市ふれあいの家 デイクア

[対象者] 笛吹市在住、在勤で手話講座の入門課程を終了した方・手話を学んだことがある方

[講師] 聴覚障がい者講師、手話通訳者講師

[参加費] 無料 [定員] 20名
(定員になり次第締め切りとなります)

[申込・問い合わせ先]

社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会
障害者地域活動支援センター「ふえふき」

TEL：055-263-1777 (担当：小林・雨宮)



Q 今後の生活について

A 今回防災訓練に参加させてもらったことをきっかけに、区の行事にできる限り参加していきたいと思いました。そうすることで、地域の人と顔見知りになり、いざという時に、助け合うことができるのではないかと思います。それと、手話が普及し、手話が特別なものでなく、普通にありさつがかわせるような地域になるといいな、と思います。



手話奉仕員 渡辺さん
手話も大切ですが、日頃から地域の人と顔を合わせ、顔の見えに関係になっておくことが大切だと感じました。講座で学んだことを活かせる場面もあったし、実際の場で学ぶこともありました。人の繋がりの大切さを、改めて感じました。

手話奉仕員 赤尾さん

習った手話を使って話をすることができました。これから手話を頑張って勉強していきたいです。

後見センター引越しのお知らせ

後見センターふえふきは、本所(八代)の地域福祉課内へ移転いたしました。地域の皆様の多様なニーズに対応できるように、日常生活自立支援事業から成年後見制度まで、権利擁護全般の総合相談窓口として機能を強化しています。支援が必要な方の想いを受け止め、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように支援させていただきますので、引き続きよろしく願いいたします。



新しい連絡先

社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会
地域福祉課 後見センターふえふき

住所：〒406-0822 笛吹市八代町南917番地

TEL：055-265-5182 FAX：055-265-5183

営業時間 8：30～17：15 (平日)

お気軽にご相談ください 担当：萩原・藤巻